

○伊佐市十曾青少年旅行村の設置及び管理に関する条例

平成20年11月 1 日

条例第172号

(設置)

第1条 青少年の健全育成と山村地域の活性化を図るとともに、農林業の振興を促進するため、十曾青少年旅行村(以下「旅行村」という。)を伊佐市大口小木原688番地に設置する。

(管理)

第2条 旅行村は、市が管理する。ただし、地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第3項に規定する指定管理者に、旅行村の管理を行わせることができる。

(令4条例27・追加)

(施設)

第3条 旅行村の施設は、次のとおりとする。

- (1) 管理棟
- (2) テントサイト
- (3) バンガロー
- (4) 十曾森林コテージ
- (5) 十曾フレンドハウス
- (6) 芝生広場
- (7) 芝生広場照明施設
- (8) 自然体験施設「こどもの森」(わらの家、五右衛門風呂、菜園コロニー)

(平27条例17・平28条例31・令元条例7・令3条例25・一部改正、令4条例27・旧第2条繰下)

(休村日)

第4条 旅行村の施設(以下「施設」という。)の休村日は、12月28日から翌年1月4日までとする。ただし、市長が特に施設の管理上必要があると認めるときは、これを変更し、又は臨時に休日进行を定めることができる。

(平23条例32・全改、令4条例27・旧第3条繰下)

(開村時間)

第5条 開村時間は、次のとおりとする。

管理棟	午前9時から午後10時まで
-----	---------------

テントサイト バンガロー 十曽森林コテージ	午後 3 時から翌日の午前10時まで (2泊以上の場合は、宿泊と宿泊の間の午前10時から午後 3 時までを含む。)
十曽フレンドハウス	午前 9 時から午後10時まで
芝生広場	午前 9 時から午後10時まで。ただし、10月 1 日から翌年 3 月 31日までは、午後 9 時まで
芝生広場照明施設	日没から午後10時まで。ただし、10月 1 日から翌年 3 月31日までは、午後 9 時まで
自然体験施設「こどもの森」	午前 9 時から午後10時まで

2 前項の規定にかかわらず、市長は、施設の管理上必要があると認めるときは、前項の開村時間を変更することができる。

(平23条例32・平27条例17・平28条例31・令元条例 7・令 3 条例25・一部改正、
令 4 条例27・旧第 4 条繰下)

(利用の許可)

第 6 条 施設を利用しようとする者は、あらかじめ市長の許可を受けなければならない。
許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

2 市長は、施設の管理上必要があるときは、前項の許可をするに当たり条件を付することができる。

(令 4 条例27・旧第 5 条繰下)

(利用の制限)

第 7 条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、施設の利用を許可しない。

- (1) その利用が公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあると認められるとき。
- (2) その利用が施設を破損するおそれがあると認められるとき。
- (3) その利用が暴力団その他集团的に又は常習的に暴力的不法行為を行うおそれがある組織の利益になると認められるとき。
- (4) 前 3 号に掲げる場合のほか、施設の管理上支障があると認められるとき。

(令 4 条例27・旧第 6 条繰下)

(使用料)

第 8 条 第 6 条第 1 項の許可を受けた者(以下「利用者」という。)は、別表に定める使

用料を前納しなければならない。ただし、市長が後納を認める場合は、この限りでない。

(令4条例27・旧第7条繰下・一部改正)

(使用料の減免)

第9条 市長は、伊佐市公の施設に係る使用料等の減免に関する条例(令和元年伊佐市条例第6号)第4条の規定に該当する場合は、使用料を減額し、又は免除することができる。ただし、別表に掲げる芝生広場照明施設、毛布、まくら、薪及び電動アシスト自転車については、市が主催又は共催する行事等に使用する場合を除き、減免の対象としない。

(令元条例7・令3条例25・一部改正、令4条例27・旧第8条繰下)

(使用料の不還付)

第10条 既に納入された使用料は、還付しない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、既に納入された使用料の全部又は一部を還付することができる。

- (1) 利用者の責任によらない理由で利用できなくなったとき。
- (2) 利用者から利用前に利用の取消し又は変更の届出があり、市長が相当の理由があると認めるとき。

(令4条例27・旧第9条繰下)

(利用の許可の取消し等)

第11条 市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、許可した事項を変更し、又は許可を取り消し、若しくは利用の中止を命ずることができる。

- (1) 利用者が許可を受けた利用の目的又は利用の条件に違反したとき。
- (2) 利用者がこの条例又はこの条例に基づく規則若しくは市長の指示した事項に違反したとき。
- (3) 利用者が許可の申請書に偽りの記載をし、又は不正の手段によって許可を受けたとき。
- (4) 天災事変その他避けることのできない理由により必要と認められるとき。
- (5) 公益上必要と認められるとき。
- (6) 前各号に掲げる場合のほか、施設の管理上特に必要と認められるとき。

(令4条例27・旧第10条繰下)

(利用権の譲渡禁止等)

第12条 利用者は、施設の利用の権利を他人に譲渡し、又は転貸してはならない。

(令4条例27・旧第11条繰下)

(原状回復義務)

第13条 利用者は、その利用が終了したとき、又は第11条の規定により許可を取り消され、若しくは利用の中止を命ぜられたときは、その利用した施設を直ちに原状に回復しなければならない。ただし、市長の承認を得たときは、この限りでない。

(令4条例27・旧第12条繰下・一部改正)

(損害賠償)

第14条 利用者は、故意又は過失により施設を破損し、又は滅失したときは、それによって生じた損害を市に賠償しなければならない。ただし、市長が特別の事情があると認めるときは、この限りでない。

(令4条例27・旧第13条繰下)

(免責義務)

第15条 旅行村において、利用者の責めに帰する理由により生じた事故又は盗難等による損害については、市はその責めを負わないものとする。

(令4条例27・追加)

(指定管理者による管理及び業務)

第16条 第2条ただし書の規定により旅行村の管理を指定管理者に行わせる場合は、第4条及び第5条の規定にかかわらず、当該指定管理者は、必要と認めるときは、あらかじめ市長の承認を受けて、旅行村の休村日を変更し、若しくは別に定め、又は開村時間を変更することができる。

2 第2条ただし書の規定により旅行村の管理を指定管理者に行わせる場合は、第6条、第7条及び第11条中「市長」とあるのは、「指定管理者」と読み替えるものとする。

3 第2条ただし書の規定により旅行村の管理を指定管理者に行わせる場合において、当該指定管理者が旅行村の管理を行うこととされた期間前に第6条の規定による許可を受けている者は、当該指定管理者の利用の許可を受けた者とみなす。

4 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

(1) 旅行村の利用の許可及び利用の許可の取消しに関する業務

(2) 旅行村の施設及び設備の維持管理に関する業務

(3) 旅行村の利用に係る料金(以下「利用料金」という。)の徴収に関する業務

(4) 前3号に掲げるもののほか、市長が必要と認める業務

(令4条例27・追加)

(利用料金等)

第17条 第8条から第10条までの規定にかかわらず、第2条ただし書の規定により旅行村の管理を指定管理者に行わせる場合は、旅行村の利用者は、利用料金を納めなければならない。この場合において、別表中「使用料」とあるのは、「利用料金」と読み替えるものとする。

2 利用料金の額は、別表に定める金額の範囲内において、指定管理者があらかじめ市長の承認を受けて定める。

3 指定管理者は、あらかじめ市長の承認を受けて定めた基準により利用料金の減額若しくは免除又は還付をすることができる。

4 利用料金は、指定管理者の収入とする。

(令4条例27・追加)

(委任)

第18条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

(令4条例27・旧第14条繰下)

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成20年11月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の日の前日までに、合併前の大口市十曾青少年旅行村の設置及び管理条例(昭和48年大口市条例第6号)の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、この条例の相当規定によりなされたものとみなす。

附 則(平成23年12月22日条例第32号)

(施行期日)

1 この条例は、平成24年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 第1条の規定による改正後の伊佐市夢さくら館の設置及び管理に関する条例の規定、第2条の規定による改正後の伊佐市ひしかり交流館の設置及び管理に関する条例の規定、第3条の規定による改正後の伊佐市十曾青少年旅行村の設置及び管理に関する条例別表の規定、第4条の規定による改正後の伊佐市楠本川溪流自然公園の設置及び管理に関する条例別表の規定、第5条の規定による改正後の伊佐市菱刈パークゴルフ場

の設置及び管理に関する条例別表の規定並びに第 6 条の規定による改正後の伊佐市山野鉄道記念公園照明施設使用料徴収条例の規定は、この条例の施行の日以後の利用の許可に係る利用料金又は使用料について適用し、同日前の利用の許可に係る利用料金又は使用料については、なお従前の例による。

附 則(平成27年 3 月19日条例第17号)

この条例は、平成27年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成28年 9 月26日条例第31号)

この条例は、平成28年10月 1 日から施行する。

附 則(令和元年 9 月26日条例第 7 号)抄

(施行期日)

1 この条例は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。

(経過措置)

2 この条例による改正後のそれぞれの条例の使用料又は利用料金(以下「使用料等」という。)及び使用料等の減免の規定は、この条例の施行の日以後の利用に係る使用料等及び使用料等の減免について適用し、同日前の利用に係る使用料等及び使用料等の減免については、なお従前の例による。

附 則(令和 3 年 6 月29日条例第25号)

この条例は、令和 3 年 8 月 1 日から施行する。

附 則(令和 4 年12月22日条例第27号)

この条例は、令和 5 年 1 月 1 日から施行する。

別表(第 8 条関係)

(令 3 条例25・全改、令 4 条例27・一部改正)

(1) 施設

区分	単位	使用料
管理棟温水シャワー	1 回	100円
テントサイト(5 人まで)	テント又はタープ 1 張 1 泊につき	500円
テントサイト(6 人以上)		800円
常設テント	1 泊につき	2,000円
バンガロー(大)		4,000円
バンガロー(小)		2,000円

十曽森林コテージ		9,000円
十曽フレンドハウス	1 時間当たり	200円
芝生広場照明施設		800円

(2) 用具

区分	単位	使用料
テント(大)	1 泊につき	3,000円
テント(中)		2,000円
テント(小)		1,000円
毛布	1 枚	300円
まくら	1 個	50円
炊飯用具	1 セット(5 人分)	500円
薪	1 束	200円
バーベキューセット	1 組	500円
電動アシスト自転車	1 台(2 時間以内)	500円
	延長 1 時間につき	200円

備考

- 1 利用時間に 1 時間未満の端数があるときは、1 時間とする。
- 2 テントサイトの使用料は、1 張当たりの利用人数で区分する。ただし、小学生以下は含まない。